

日本に現存する
最古の和歌集「万葉集」を
わかりやすくご紹介します



はたや今夜も

吉野山の山おろしの風は寒いの
に、「はたや今夜も」一人で寝ること
か、と独り寝のわびしさを嘆いた歌
です。



み吉野の山の嵐の寒けくに はたや今夜もわが独り寝む

文武天皇 卷一(七四番歌)

訳

み吉野の山の嵐は寒いことなのに、
あるいは今夜も私は一人で寝るのだろうか。

「はた」とは、あるいは、ひよつとし
て、という意味の言葉です。漢字本
文では「為当」と表記されています。
中国六朝以降の俗語的用法で、そう
した知識を持っていた人が書き記し
たとみられます。

「山の嵐」は「山下風」と表記され
ており、峰から吹き降ろす山おろし
であることが伝わります。

吉野山で過ごす夜の染み入るよう
な寒さ、建物を揺らすように響く山
おろしの音、そこで独り寝る様子が
目に浮かぶようです。名歌として知
られ、平安時代の『拾遺和歌集』や鎌
倉時代の『新勅撰和歌集』などにも
採られています。

この歌は、「大行天皇」の吉野行幸
のときの歌だと『万葉集』に記されて
います。「大行天皇」とは、崩御した
あと諡号(おくりな)を贈られる前
の天皇のことですが、『万葉集』では
文武天皇に限って用いられています。

文武天皇は持統天皇の孫にあたる
人物で、六国史の二番目である『続
日本紀』は、この天皇の即位記事か
ら始まります。持統天皇は文武天
皇に生前譲位し、史上初の「太上天
皇」となりました。

文武天皇五(七〇二)年三月二十一
日、元号を建てて「大宝元年」とし、
以降、現在の「令和」まで年号が途切
れることなく続くこととなりました。
また、初めての本格的な律令で
ある大宝律令も、この年に成立しま
した。律令とは古代東アジアにみら
れる法体系で、文字によって記され
た体系的な法律でした。

文武天皇はわずか一五歳で即位
し、慶雲四(七〇七)年に二五歳で崩
御しました。陵墓は明日香村の栗原
塚穴古墳に治定されていますが、八
角墳である中尾山古墳が現在是有
力視されています。
(本文 万葉文化館 井上さやか)

万葉ちゃんの

つぶやき

和歌や作者などに関連
するものを紹介するよ！



万葉ちゃん

中尾山古墳 (明日香村)

高松塚古墳から北にある小規模な
古墳。天皇陵独特の八角形墳で、二〇二
〇年の調査では、精巧な横口式石槨と
三段構造の墳丘が
確認されました。



※現在は埋め戻されています

明日香村文化財課
☎0744-54-5600